2020年度版 guide

小さな学校の大きな挑戦
新しい聖ヶ丘が始まる。

多摩大学附属聖ヶ丘（ひじりがおか） 中学校 高等学校

小田急線 京王線「永山駅」
京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」
無料 スクールバス運行

A知探Qの夏

自分の世界を広げる、夏がある。

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

授業の枠の外で、「学び」を楽しもう。

「A知探Qの夏」とは、体験型のサマーセミナーです。専門家や地域の方々、大学の教授や学生さんを巻き込んで、とことん「学び」を楽しみます。教員たちが各自の専門性を活かして、教えて楽しいと思うことを全力で生徒に届けます。先生たちが楽しそうだと、きっと生徒も嬉しいはずです。「学び」が楽しいというモチベーションを皆で共有し、更なる「学び」につながるよう取り組んでいきます。

「A知探Qの夏」概要

講座は、アクティビティ·文化体験·フィールドワークや宿泊を伴うものなど、全34種類。7月の後半に、4日間を1セットとして計3セット実施します。4日目は、どの講座でも必ず「まとめ」を制作。「楽しむ」先をも見据えた取り組みです。

教育企画部長
出岡 由宇　教諭

伝統芸能を
観に行こう

響け！
ことばの合唱！

電車でＧＯ！

ブルーベリーの
未来

被災地支援を考える

オーストラリアン
フットボールをしよう！

ピアノで
アンサンブル

会津若松
フィールドワーク

国際貢献

美味しい
ハンバーグの
科学

教育方針3つの柱

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

少人数で きめの細かい指導

- 1学年120名、全員の顔と名前が覚えられる都内でも小さな共学校。
- 中学1～2年、高校2～3年は30人4学級が基本。
- 一人ひとりに卒業証書が手渡され、皆で送り出す卒業式は、感動的で高い満足度。

本物から 本質に迫る教育

- 語彙力育成、論理力、表現力などの言語活動を重視。
- 体験的学習、観察、実験を重視。
- フィールドワークを通じて問題発見力、解決力を育む。
- 異文化交流でグローバルな精神、態度を育成。

主体性と 協働性の育成

- 答えを待つのではなく、自ら考える力を育成。
- 低学年からSStimeで自ら学ぶ態度と習慣を養い、家庭学習につなげる。
- ステレオタイプ的な考えを乗り越え、共に学び考える中で独自性･創造力を養う。

基礎から応用、さらにその先へ。

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

■ 中学校・高等学校のカリキュラム

中1 → 中2 → 中3 → 高1 → 高2文系 → 高3文系 ／ 高2理系 → 高3理系

中1	中2	中3	高1	高2文系	高2理系	高3文系	高3理系
国語（4）	国語（5）	国語（6）	国語総合（5）	現代文B（3）	現代文B（3）	現代文B（3）	現代文B（2）
社会（4）	社会（4）	社会（4）	世界史A（2）	古典B（4）	古典B（3）	古典B（3）	数学Ⅲ or 数学総合（6）
数学（5）	数学（5）	数学（6）	倫理（2）	日本史B（4）	日本史B or 地理B（3）	世界史B or 日本史B or 地理B or 倫理・政治経済（4）	物理 or 化学 or 生物（4）
理科（4）	理科（4）	理科（4）	数学Ⅰ（4）	地理B（3）	政治・経済（2）	体育（3）	体育（3）
音楽（2）	音楽（2）	音楽（1）	数学A（2）	政治・経済（2）	数学Ⅱ（4）	コミュニケーション英語Ⅲ（4）	コミュニケーション英語Ⅲ（4）
美術（2）	美術（1）	美術（1）	物理基礎（2）	数学Ⅱ（4）or（3）	数学B（3）	英語表現Ⅱ（2）	英語表現Ⅱ（2）
保健体育（3）	保健体育（3）	保健体育（3）	生物基礎（2）	化学基礎 or 地学基礎（2）	化学基礎（4）	社会と情報（2）	社会と情報（2）
技術・家庭（2）	技術・家庭（2）	技術・家庭（1）	体育（2）	体育（2）	物理 or 生物（3）	総合（1）	総合（1）
英語（6）	英語（6）	英語（6）	保健（2）	コミュニケーション英語Ⅱ（4）	体育（2）	特別活動（1）	特別活動（1）
道徳（1）	道徳（1）	道徳（1）	芸術（音楽Ⅰor 美術Ⅰor 書道Ⅰ）（2）	英語表現Ⅱ（2）	コミュニケーション英語Ⅱ（4）	選択科目（2～12）	選択科目（0～10）
総合（2）	総合（2）	総合（2）	コミュニケーション英語Ⅰ（4）	数学B（3）	英語表現Ⅱ（2）		
特別活動（1）	特別活動（1）	特別活動（1）	英語表現Ⅰ（2）	国語表現 / 世界史特論 / 時事問題 / 音楽Ⅱ / 英語総合1 / 英語会話（2）×2	総合（1）		
			家庭基礎（2）	総合（1）	特別活動（1）		
			総合（1）	特別活動（1）			
			特別活動（1）				

※カッコ内の数字は単位数を表します。

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

英語

English

自分から「Hello」と言える人へ。

教科の目標

授業では、英語を介して世界中の人々の考えを理解すること、また自分の考えを伝える力の育成を重視しています。6年間の学習を通じて、自国の文化だけでなく他国の異なる文化も理解し、諸外国の人々と広くコミュニケーションを取ることができる、国際社会の一員となる人材の育成を目指しています。

基礎を築く「少人数クラス」

中1から高1までは、外国人講師の授業を約15人の少人数クラスで展開します。発表や作文の機会を多く設け、一人ひとりが能動的に英語を「聴ける・話せる」時間を確保。しっかりとした基礎力を養います。高2からは論理的な文章を書くために必要な表現や考え方と、より難解な英文を読むために必要なスキルの習得に注力しています。

外部検定試験へも挑戦

高校生全員が6月と12月に「GTEC」を受検するほか、中学生でも英語検定の積極的な受検を推奨しています。どの検定試験にも対応できるようにしっかりとした4技能（話す・聞く・書く・読む）の力を身に付け、卒業時には語学レベルを示す国際標準規格「CEFR(セファール)」のB1レベル以上に到達することを目指します。

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

国語

Japanese Language

磨いた「ことば」で世界とつながろう。

教科の目標

「ことば」の力は、すべての人間活動の源。文章を丁寧に読み解くことや、他者の意見に耳を傾けること、自分の思いを伝えることなどを、プレゼンテーションやグループ討議など授業のさまざまな場面で実践しつつ、語彙力と論理的思考力を磨きます。また、自分の「ことば」によって、自分の世界が広がる体験を通して、社会に貢献する「思考力」やコミュニケーション力に資する「国語力」を育てます。

色々な側面から、考えてみよう

情報過多の現代において、多様な立場からの情報を受けて「考える力」、考えを「組み立てる力」は必須です。本校では、中3から「現代文」と「古典」に分かれて、複数の側面から「どう考える?」を常に問いかけていきます。表現力だけではなく、他者の視点を持つことも鍛えることで、倫理観と論理力に基づいた思考力を磨きます。

「短歌」で自分の気持ちを伝えよう

すべての関係性の第一歩は、人の話を注意深く聴き、自分の言葉で「考え」や「思い」を伝えること。そのため授業では、プレゼンテーションやグループ討議などの場を設けて、発言と意見交換を大切にしています。中でも特徴的なのは、「聖っ子青春短歌」。五·七·五·七·七の制約の中で、自分の気持ちを言葉にします。中学初めての夏休みを満喫した中1から、受験を控える高3の受験生まで、全校生徒の作品が一部屋に並び、圧巻です。

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

数学

Mathematics

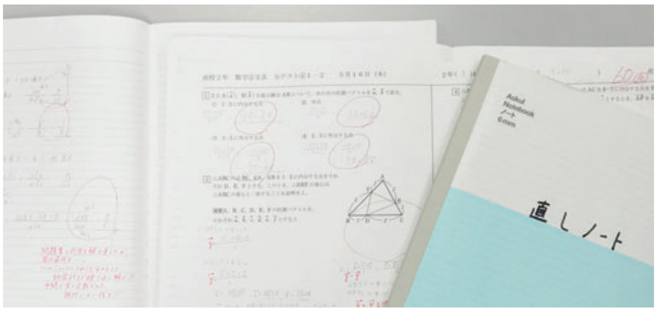
筋道を立てて、問題に挑戦。

教科の目標

数学は、筋道を立てて「考える」ことを繰り返します。ただ答えを出すだけではなく、ふさわしい解き方や、式や図の表現まで、じっくりと考えて答えを導き出します。答えに辿り着く方法も決して一通りではありません。そのため、聖ヶ丘の数学では「学び合い」も授業に取り入れるなど、考え方の視野を広げる取り組みをしています。問題に正解できると、喜びを感じるはずです。卒業後にも様々な困難に立ち向かえるよう、この喜びを知り、問題解決のための忍耐力も育みます。

計算過程も添削する、「直しノート」

約2週間に1回実施する「小テスト」後に、「直しノート」を活用して振り返り学習を行っています。間違えた問題を解き直した「直しノート」は、教員が途中式や図も含めて細かく添削。生徒が解答に辿り着けるようになるまで、何度も提出を繰り返します。「わからないことを、わからないままにしない」学びの実践であるとともに、生徒たちへの自学の定着にも結び付いている取り組みです。



中3からは、きめの細かい「習熟度別」授業

中1･中2は、計画的な自宅学習の定着と基礎･基本の習得を目標として「クラス単位」で授業を行います。中3からは、一人ひとりの学習到達度に合わせて「習熟度別」の授業を展開します。少人数制なので、生徒の現状を把握しながら、きめの細かい指導を実現。丁寧な指導で、中学のうちに計算力を含めた数学の基礎を作り、高校から意欲を持って応用問題に取り組めるよう目指していきます。

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

理科

Science

驚きと発見の先に「知りたい」がある。

教科の目標

多くの実験や実習を行う、理科の授業。教科書を暗記するだけではなく、その背景にある仕組みを実際に体感します。また、「授業プリント」や「実験レポート」など、自分の言葉で説明する練習を繰り返すことにより、物事を論理的に考える力はもちろん、自分の考えを言語化する力も磨きます。私たち人間も自然の一部。このことを踏まえて、正しい選択ができるように、そして日進月歩の科学技術に興味を持てるよう、生徒の関心を育みます。

授業の中心は実験・実習

中学3年間で100以上のテーマの実験・実習を実施するなど、中学・高校ともに生徒が実体験を通して学ぶ機会を数多く設けています。たとえば、学校周辺の豊かな自然を生かした植物の採集や野外観察、方法選択から自分たちで行う実験などを行っています。実験後には、学んだ内容を基に自分自身で実験結果を解釈し、各自で実験レポートを作成。学習内容の理解を深めながら、科学的に考える態度を育みます。

発展的な学びを生む、オリジナルテキスト

「自分で見て、自分で確かめ、自分で調べる」ことは、理科の学習の基本です。多くの実験・実習を取り入れたカリキュラムに合わせ、本校独自の「実習ノート」やオリジナルテキスト「生き物のしくみ20話」を活用しています。実験・実習で扱った内容に合わせて、教科書には載っていない発展的な項目や聖ヶ丘の自然に関する文章など、本校の特長を生かしたものになっています。

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

社会

Social Studies

世の中を知るほど、あふれる興味。

教科の目標

環境問題から政治、経済に文化。あらゆる面で国境を超えた活動ができるように、社会科の授業では、「世の中の出来事を正しく理解する力」・「健全なる批判力」・「本質を見極める見方・考え方」を身に付けることに注力しています。また、基礎的知識の習得だけに偏ることなく、グループワーク・発表・論述など生徒が「学び合う」視点を大切にすることで、多面的な見方や論理的な説明力などの習得も目指します。

歴史や文化を肌でも学ぶ、社会科見学

「現地を訪れ、本物に触れる」を大切にして、中1では幅広い分野の社会科見学を実施。横浜・鎌倉・日本銀行・東京の下町・小田原・三浦半島から2か所を選択して、それぞれの場所ならではの体験を通し、歴史や文化を肌でも学びます。見学中にワークシートを記入するほか、見学後には各自でレポートを作成。自分で学びを総括することにも注力しています。

総合力を養う、夏季の課題

夏季の課題として、「歴史新聞」「環境地図」の作成を実施しています。テーマは、各自が自由に設定。資料集めから行い、調査からまとめまでの流れを通して、総合的な力を伸ばしていきます。「環境地図」については、多摩市主催の「身のまわりの環境地図作品展」に毎年応募しており、数々の賞をいただくなど毎年成果を上げています。

夢の種を、一緒に育てよう。

選択の幅を、広げる

聖ヶ丘の進路指導では、より多くの選択肢に気付いてもらうための機会創造を大切にしています。たとえば、大学の先生をお招きする「模擬授業」や、様々な企業で活躍された方による「職業講話」を実施するほか、オープンキャンパスや大学見学会の案内も積極的に行っています。限定的な知識ではなく、本物に「見て、触れる」ことを手伝い、生徒自身が自主的に進路を考えられるよう支援しています。

一人ひとりの進路に、向き合う

学校側からの発信だけではなく、生徒一人ひとりの要望に応えていく体制です。定期的な「個人面談」を実施するほか、担任や進路指導部の教員へ随時進路相談ができる環境づくりをしています。また、試験前の「サポート講座」やガイダンスなどの場で、卒業生へ進路相談する生徒も。濃厚なコミュニケーションで、偏差値だけではない総合的な視点での進路選びができるのは、少人数制だからこそです。

進路指導部長
田中 良重　教諭

Student Voice

自分の関心と重なる進路へ

進路を早い段階から意識できる環境はもちろん、先生方のアドバイスにも感謝しています。先生の一声で挑戦した、文化祭の実行委員長は特に思い出深いです。旺盛な好奇心を、さらに刺激する経験が積めました。現在は、その好奇心を活かせる「社会学」を、大学で学びたいと思っています。多くの講習が用意されているので、活用しながら目標を実現したいです。

一人ひとりの力を、引きだ

3段階で、着実に力をつける
中高一貫教育。

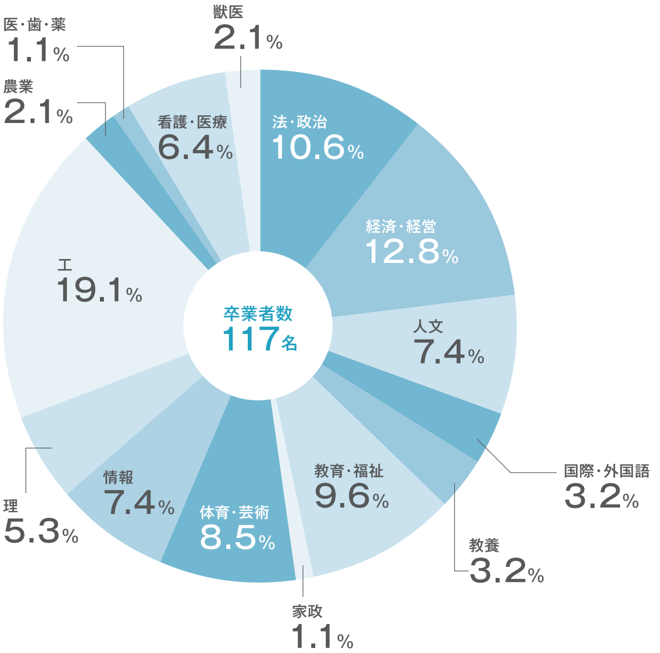
中1～中2
基礎・基本を習得する段階

す、磨く、伸ばす6年間。

中3～高1
個性の伸長と進路適性発見の段階

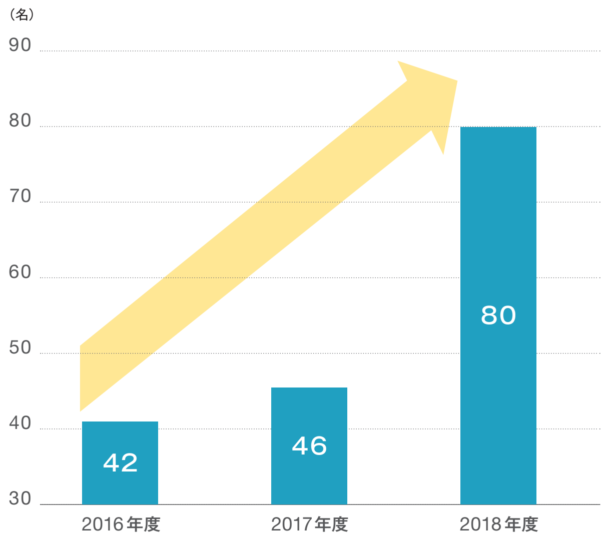
高2～高3
応用力をつけ、伸ばす段階

2018年度（29期生）大学分野別進学状況



難関私立大学現役合格者数

早慶上理+GMARCH+日東駒専

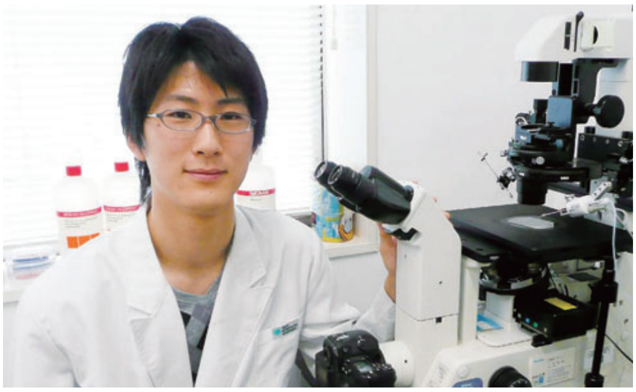


過去3年間の合格状況

卒業生徒数 ／ 18年度（117名） 17年度（120名） 16年度（113名）

国公立大学	2018年度	2017年度	2016年度
東京外国語大学			1
東京学芸大学	1		
東京農工大学	1	1	
首都大学東京	1		
横浜国立大学		1	
神奈川県立医療福祉大学		1	
北海道大学	1		1
東北大学		1	
秋田大学			1
岩手大学	1		
山形大学		1	
弘前大学		1	
茨城大学	1		
宇都宮大学	1	1	
千葉大学	1		
山梨大学		1	1
信州大学		1	
富山大学		1	
名古屋大学		1	
大阪大学	1		
高知工科大学			1
徳島大学		1	
山口大学		1	
岡山県立大学			1
鹿児島大学	1	2	
国公立大学合計	10	15	6

私立大学	2018年度	2017年度	2016年度
早稲田大学	4	1	2
慶應義塾大学	2		
上智大学		2	5
国際基督教大学		1	1
東京理科大学	4	6	5
明治大学	11	6	6
青山学院大学	6	2	8
立教大学	4		8
中央大学	22	7	6
法政大学	5	2	13
学習院大学	2	5	3
関西大学			3
関西学院大学	1		
同志社大学	2	1	1
立命館大学		1	
津田塾大学	2		
成蹊大学	7	1	8
成城大学	4	5	1
武蔵大学	2	2	
明治学院大学	6	6	5
日本大学	9	12	8
東洋大学	3	6	8
駒澤大学	5	4	3
専修大学	13	4	7
聖マリアンナ医科大学		1	
東海大学	6	11	13
東京女子医科大学		1	1
東京電機大学	5	3	2
東京都市大学	6		16
東京農業大学	15	19	10
東京薬科大学	2	6	3
日本獣医生命科学大学	3	7	
多摩美術大学	2		8
武蔵野美術大学	1	2	2
その他	176	156	137
私立大学合計	330	280	293



私は多摩大聖ヶ丘で中学・高校の6年間を過ごしました。友人にも先生にも恵まれ、とても楽しく有意義な生活を送ることができました。その中でも聖ヶ丘で特に得られたことは、専門的な知識と考え方だと思います。高校2、3年での専門授業はごく少人数でおこなわれ、先生とのマンツーマンに近い感覚で質問もしやすく、自分が納得するまで付き合ってくれました。先生もその分野の知識に長けた優秀な方が多く、生物や化学、数学の授業は毎回楽しみにしていたのを覚えています。

井上　梓　東京大学大学院　博士課程修了（先端生命科学）
ハーバード医科大学　リサーチフェロー

1学年約120人の小さな学校で過ごした6年間。思い返せば、どの生徒にも一人ひとりが活躍できる場がありました。それぞれの場で、自分のやるべきことを考え、決断し、行動すること。そして、結果を出すよりも、自分で決めた道を最後まで諦めないことで、一歩も二歩も成長できると学びました。時には迷い、悩むこともありましたが、その思い出のすべてに、温かい友人たちや先生方の顔が浮かびます。そんな聖ヶ丘で過ごした特別な青春時代の、「教員としてまたここに帰ってきたい」という目標を、遂に達成しにきました。先生方の背中を追って、今度は私が、生徒の特別な毎日を作っていく番です。

佐野　彩雪　多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校教諭

聖ヶ丘の6年間で、
得たものはなんですか？

私は中学校・高校ともに聖ヶ丘で過ごして来ました。聖ヶ丘は生徒も先生方も穏和で思いやりがあり、とても居心地の良い学校でした。たとえ先生に厳しく叱られても、生徒に対する思いやりが感じられ、優しさゆえの厳しさだと感じることができました。そのようなことを通して、私は精神的にも大きく成長する時期であるこの6年間に、思いやりや優しさという大切な心を学ぶことができたと思います。

杉谷　春佳　日本大学松戸歯学部付属病院

僕は聖ヶ丘の野球部で、たくさんの個性豊かな仲間ができました。そして生涯の親友にも出逢えました。この仲間と歩んだ道のりは今後の人生のなかで、大きな励みとなることは間違いありません。「野球ができることに感謝」これが僕の座右の銘です。今、好きな野球ができるのは親、先生方、そしてチームメイトのおかげ。この感謝の気持ちを胸に、最高の仲間に出逢えたことを「絆」に刻み、走り続けていきたいと思います。

福田　秀平　福岡ソフトバンクホークス

一日の流れ

楽しい1日は、
HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
楽しい6年のもと。

私の オススメポイント

思わず気が引き締まる聖の制服

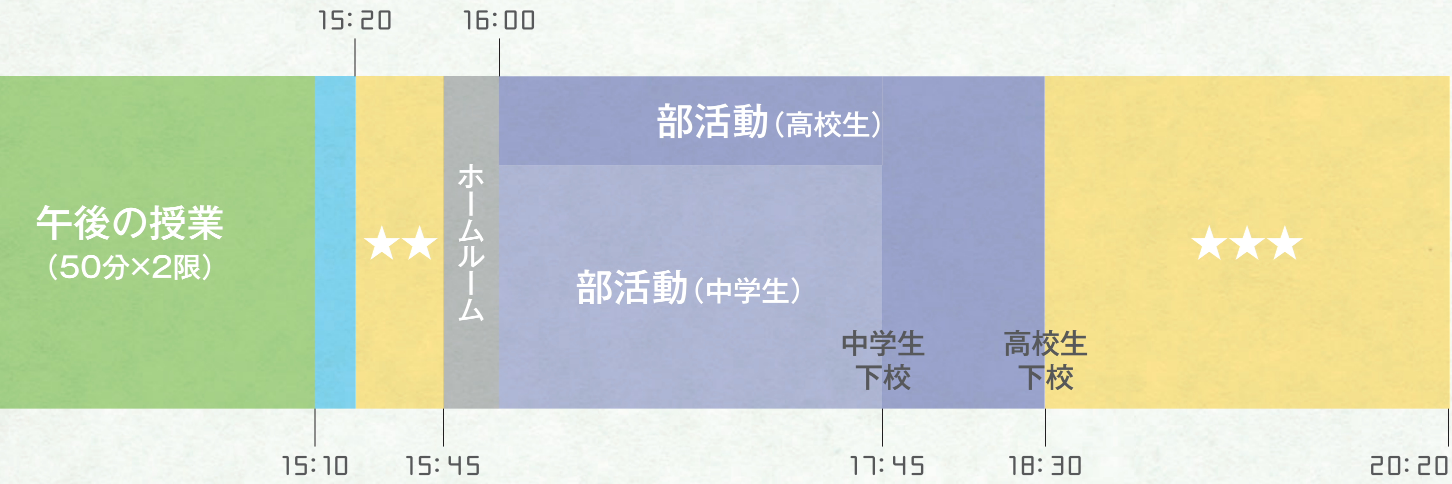
聖ヶ丘の制服は、基本はネイビーのブレザーにネクタイスタイル。胸元の聖ヶ丘のエンブレムがワンポイント。女子にも男子にも好評の制服です。

ネクタイ

エンブレム

夏服

冬服



★ 朝の読書

授業の前の10分間。校内が一斉に静まってみんな読書に没頭。スッキリと気持ちを切り替えると、午前の授業にも集中できます。

★★ SStime

1日の終わりに今日の学習を振り返る、セルフスタディータイム。ノートを整理したり、宿題に取り組んだりします。

★★★ 夜間図書館開放

部活動の後は、20:20まで開室する自習ブース式の図書館でもうひと頑張り。毎日卒業生が常駐しており、勉強の質問もできます。(高校生のみ)

オススメスポット

天体観測室

聖ヶ丘には、口径150mmの屈折式赤道儀式望遠鏡を設置したドーム型の天文台があります。理科の授業で活用したり、天文部が黒点や星座の観測に使ったりしています。

コンビニエンスストア

お昼時に一番混むのがココ。パン、おにぎり、お弁当、飲み物のほか、文房具なども販売しています。

中学1年時間割(例)

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr>
<tr><td>1</td><td rowspan="2">数学</td><td>数学</td><td>理科</td><td>地理</td><td rowspan="2">体育</td><td>英語</td></tr>
<tr><td>2</td><td>歴史</td><td rowspan="2">英語</td><td>数学</td><td>国語</td></tr>
<tr><td>3</td><td>国語</td><td>国語</td><td rowspan="2">美術</td><td>英語</td><td>道徳</td></tr>
<tr><td>4</td><td>地理</td><td>体育</td><td>数学</td><td>理科</td><td>HR</td></tr>
<tr><td>5</td><td rowspan="2">理科</td><td>英語</td><td>音楽</td><td>英語</td><td rowspan="2">技術</td><td></td></tr>
<tr><td>6</td><td>音楽</td><td>歴史</td><td>国語</td><td></td></tr>
</table>

4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
入学式 **オリエンテーション合宿（中1）**	**体育祭** 1学期中間考査	大学模擬授業① 芸術鑑賞会 大学相談会（高3）	1学期期末考査 A知探Qの夏 大学受験講座	部活動夏合宿 大学受験講座	**聖祭（文化祭）**

仲間とだから、

HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

できる挑戦もある。

オリエンテーション合宿

［中学１年］

たくさんの希望と期待に胸躍らせる新入生たちが入学式直後に2泊3日で行うこの合宿で、学校生活の基礎を学びます。ここが新たな自分、友達作り、クラス作りのスタートです。

体育祭

［全学年］

5月上旬、体育祭実行委員を中心に、生徒主体で行われる全校行事のひとつです。中学･高校の全学年が赤･白･青の3色に分かれ、優勝めざしてさまざまな種目を競い合います。

聖 祭（文化祭）

［全学年］

中学から高校までの各クラスや部活動、有志団体などが参加する全校行事です。夏休みなども含めて準備にあたり、それぞれ工夫を凝らした多彩な企画で、2日間を盛り上げます。

10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
大学模擬授業②	出願相談会（高2、高3）	2学期期末考査	センター試験直前講習（高3）	中学入試	**ニュージーランド修学旅行（中3）**
国公立大学説明会（高2）		冬季講習（高3）		高校入試	3学期期末考査
2学期中間考査		**合唱コンクール（中1～高2）**		職業講話（中2）	卒業式
修学旅行（高2）					
校外学習（中1、中3、高1）					
イングリッシュキャンプ（中2）					
OB・OG職場訪問					

三方面修学旅行

［高校2年］

行き先の決定から現地での行程まで、すべて「生徒が考える修学旅行」。全国三方面に分かれ、班ごとに各地を大移動。試行錯誤しながら学んだ道のりは、高校生活の大切な思い出のひとつです。

合唱コンクール

［中学1年～高校2年］

毎年12月に学校外の舞台で行われます。限られた練習期間の中で、クラスごとに工夫し歌声を競います。ホールに響く堂々とした合唱は、まさに努力の結晶です。

ニュージーランド修学旅行

［中学3年］

中学英語の集大成として、3年生の最後にニュージーランド修学旅行で2週間のホームステイを行います。それまで教室で学んだ英語と知識をニュージーランドの社会や生活の中で実際に活用することでコミュニケーション力を高め、さらに歴史、風俗習慣からマオリの文化に至るまでしっかりと学びます。

Sports

体育系

- 野 球 部
- ダンスドリル部
- 水 泳 部
- 剣 道 部
- サッカー部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 硬式テニス部
- 陸上競技部
- バドミントン部

陸上競技部

ダンスドリル部

硬式テニス部

野球部

サッカー部

バドミントン部

放課後も、とことん
HIJIRIGAOKA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
興味に向き合おう。

茶道部

自然科学部

交通機関研究部

吹奏楽部

漫画イラスト研究部

歴史研究部

E.S.S（英語部）

天文部

水泳部

男子バスケットボール部

剣道部

女子バスケットボール部

Culture

文化系

- 天 文 部
- 吹奏楽部
- 自然科学部
- 茶 道 部
- パソコン部
- 囲碁将棋同好会
- 交通機関研究部
- E.S.S
- 漫画イラスト研究部
- 歴史研究部
- 美術同好会

学外での活動も応援します。

Student Voice

フットサルも勉強も全力で!

ほぼ毎日、学校からそのまま練習に通っています。
移動時間にも勉強をして、フットサルと勉強の両立を図っています。

<実績>
- ·U-18全日本選手権出場
- ·U-18東京都リーグ出場
- ·東京都フットサルチャレンジカップ夏·冬出場

Student Voice

フルートも勉強もコツコツと!

レッスンは月に数回ですが、毎日必ず基礎練習をします。
また、日頃から少しの空き時間にも勉強して、試験直前に慌てないようにしています。

<実績>
- ·第72回全日本学生音楽コンクールフルート部門 高校の部　第1位
- ·第20回日本ジュニア管打楽器コンクール 高校生ユース　金賞

多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校は、
「しなやかに変革し続ける学校」でありたいと考えています。

これは、**「自主研鑽」「健康明朗」「敬愛奉仕」**といった教育目標や、
「少人数できめの細かい指導」「本物から本質に迫る教育」
「主体性と協働性の育成」という教育手法を継承しつつ、
時代に沿いながら長期的に変化し続けようということです。

そこで、**「自分自身の総点検」**として、
生徒そして教員には2つのことをお願いしています。
1つは**「更なる高みを目指す」**こと、
もう1つは**「自分の多様性に気付く」**ことです。

「さらなる高みを目指す」とは、自分の手が届く範囲での挑戦を繰り返し、
少しずつ変化しようということです。
「自分の多様性に気付く」とは、
自分自身のできること・できないこと・やりたいことを
見つめ直そうということです。

変化の下敷きにあるのは、現在の自分です。
また、学校ひいては社会という集団生活内でお互いの違いに気付くためには、
自分の変化に気付ける必要があります。

ただ、生徒自身の変化は、どこで訪れるか分かりません。
「こうしたい」が見つかった時に、
自分で方向性を切り替えられる柔軟性も必要です。

だからこそ**「学びの種を蒔いている」**という意識も大切にしています。
たとえば、学ぶ楽しさ・学ぶ方法、好奇心などは、
この6年間でしっかりと育む必要があります。
もしかしたらそれは、中学・高校の範囲を超えるものかもしれません。

そのため、教員には**「私たちは教科書の解説者ではない」**と伝えています。
生徒だけでなく、教員も自分を見つめ直せば、新しいことができるはずです。

「教育とは何か」と立ち返ると、中心にいるのはやはり生徒です。

教職員・保護者の皆さま・地域の方々が手を組み、
その三角形の中心に生徒がいることをいつも考え、
そして「しなやかに変革し続ける学校」として、本校は歩んでまいります。

校長　石飛　一吉

2019(平成31)年度　中学入試結果

回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	適性型
日時	2/1午前	2/1午後	2/2午後	2/3午前	2/5午前	2/2午前
募集定員	男女30名	男女30名	男女20名	男女10名	男女10名	男女20名
受験科目数	2科・4科	2科	2科	2科・4科	2科・4科	適性型
応募者数	98	177	171	156	195	99
受験者数	75	163	66	36	30	96
合格者数	49	118	37	22	19	81
倍率	1.53	1.38	1.78	1.64	1.58	1.19
入学者	37	20	18	15	16	19
受験者平均点	国 49.7 算 55.8 社 25.6 理 30.3	国 65.3 算 61.9	国 57.4 算 42.7	国 45.9 算 41.8 社 25.9 理 24.4	国 52.3 算 47.9 社 25.3 理 29.5	適性 Ⅰ 58.0 適性 Ⅱ 54.3
	4教科 127.1 2教科 105.5	2教科 127.2	2教科 100.1	4教科 139.3 2教科　88.0	4教科 155.2 2教科 100.2	2教科 114.0
合格最低点	2科:96　4科:145	106	99	2科:94　4科:142	2科:95　4科:138	95

在籍者数

学年	合計（男子：女子）	クラス数
中学1年生	125(73：52)	4
中学2年生	102(49：53)	4
中学3年生	115(60：55)	3
合 計	342 (182：160)	11
高校1年生	100(52:48)	3
高校2年生	135(83：52)	4
高校3年生	117(70：47)	4
合 計	352 (205：147)	11
総 計	694 (387：307)	22

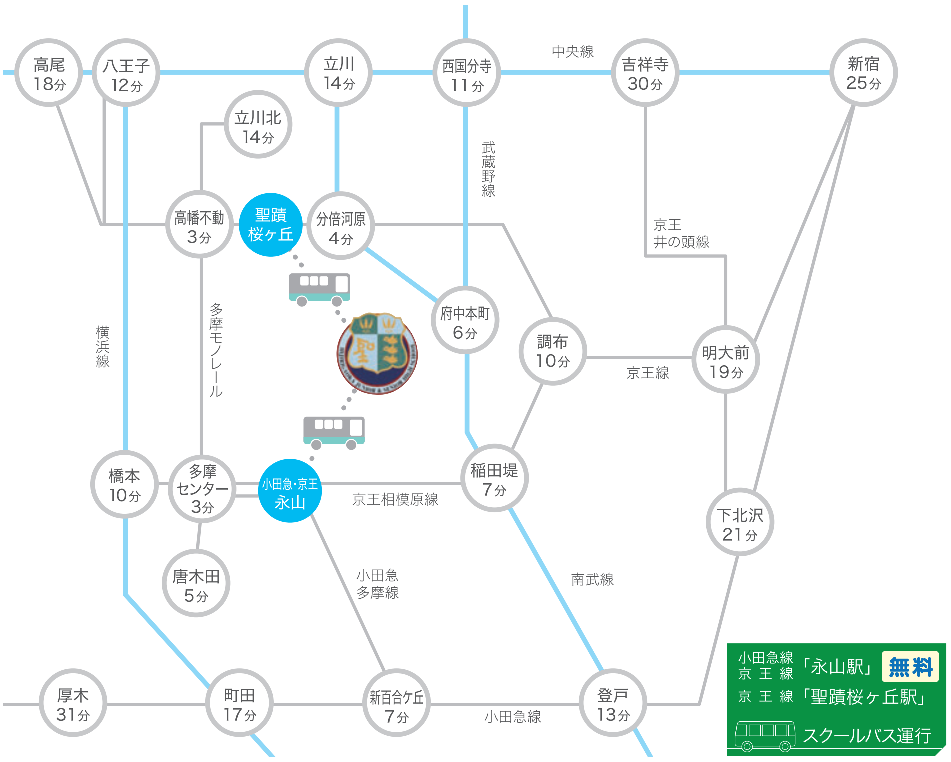
学費

2019年度の納入金は以下の通りです。

		中学校	高　校
入学金（入学手続時納入金）		250,000円	300,000円 （内部進学:200,000円）
学納金	授業料	39,000円	40,000円
	施設費	10,000円	10,000円
	教育後援会費 教育活動の後援 （スクールバス、クラブ活動、芸術鑑賞等）	2,000円 （入会金3,000円初回のみ）	2,000円 （入会金3,000円初回のみ）
	生徒会費 行事（体育祭、文化祭）、クラブ活動、委員会消耗品等	500円 （入会金300円初回のみ）	500円 （入会金300円初回のみ）
預り金（卒業時精算）	積立金 校外学習・修学旅行等	4,000円	6,000円
	諸費 問題集、検定料 （数学・英語・漢字・模試）等	6,000円	6,000円
計		月額 61,500円	月額 64,500円
初年度納入金合計（入学金含む）		991,300円	1,077,300円

※その他、ご不明な点は、事務室までお問い合わせください。

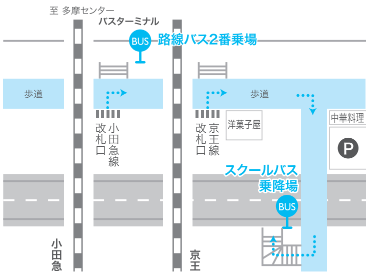
交通アクセスと最寄り駅から学校まで



※上記路線図の時間については永山駅及び聖蹟桜ヶ丘駅までの最短の時間です（乗換え時間を含まず）。

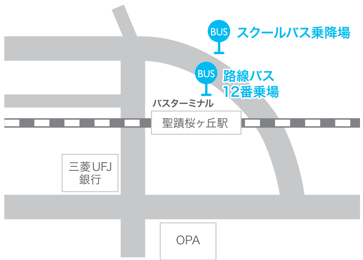
最寄り駅からのスクールバス·路線バス

小田急線·京王線 永山駅



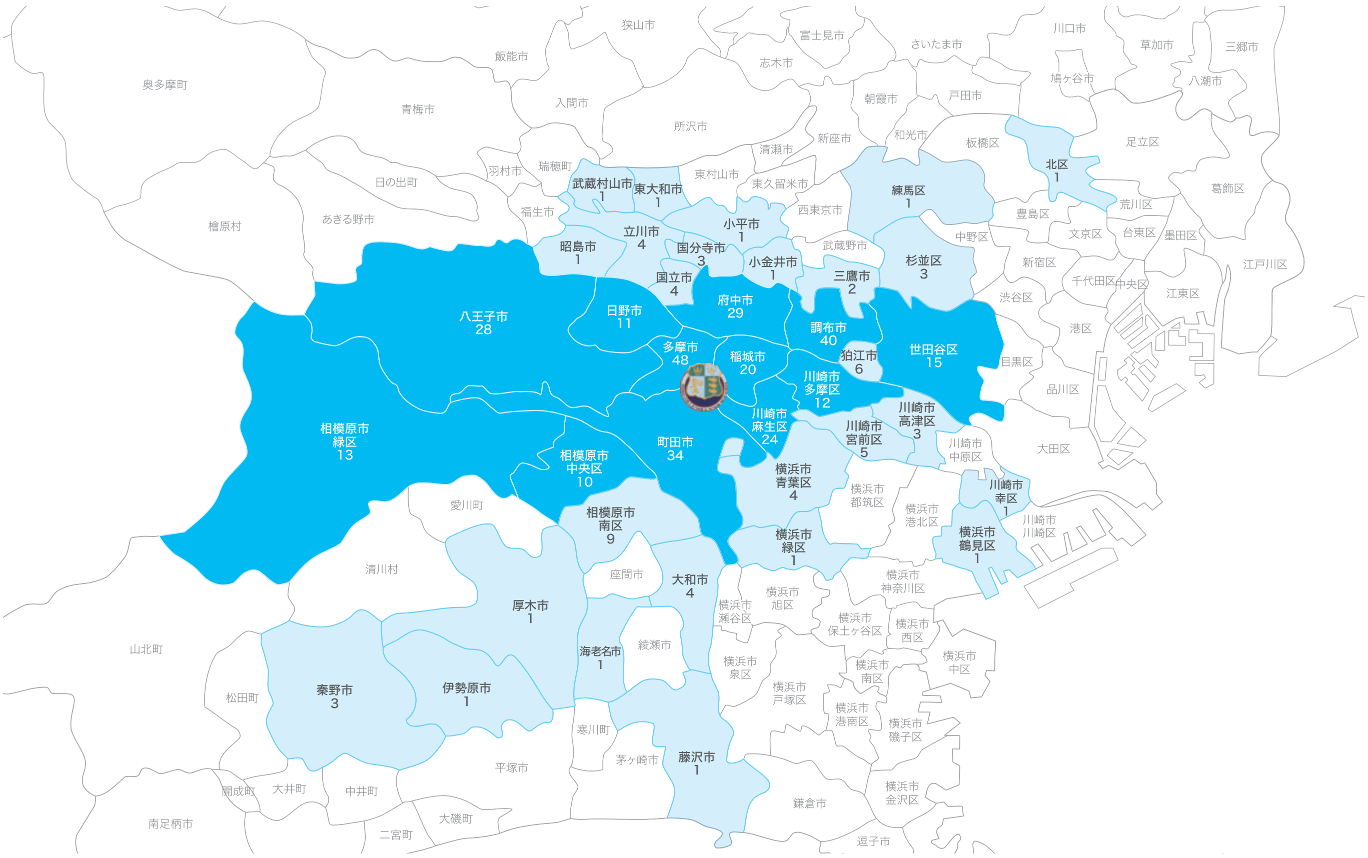
バス停2番より聖ヶ丘団地行または聖ヶ丘団地経由聖蹟桜ヶ丘駅行バス12分 多摩大学下車

京王線 聖蹟桜ヶ丘駅



バス停12番より聖ヶ丘団地経由永山駅行バス16分 多摩大学下車

在校生の通学圏（数字は中学生の通学人数）



多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1　TEL.042-372-9393　FAX.042-337-1761
https://www.hijirigaoka.ed.jp